

ギモン 03 みんなが平等に社会生活を送れるつくば市を目指して

僕にできることってあるかな?

合理的配慮を提供することは、年齢・性別・障害・国籍・経済状況などにかかわらず、全ての人が社会の一員として尊重され、孤立することなく、それぞれが力を発揮できる社会を目指すものです。あまり難しく考えなくてもいいですよ。今、自分にできることから始めてみましょう。まずは、一人一人が相手を思いやる「心のバリアフリー」を広げていこう!



ワークシート

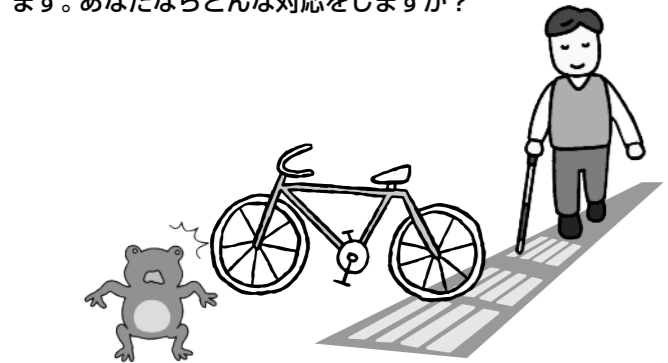
あなたならどうする?

一緒に考えよう

生活の中でそれぞれの場面に直面。あなたならどうしますか? 家族や友達、学校などで合理的配慮の提供について考えてみましょう。

点字ブロックの上に自転車が放置されています。あなたならどんな対応をしますか?

補助犬を連れた方がカフェにいます。このような場面に出会ったら、あなたはどう思いますか?



あなたの考えを自由に書いてみよう

あなたの考えを自由に書いてみよう

アンケートへのご協力をお願いします。

今後の発行の参考とさせていただきますので、「もっと知りたい!つくば市かわら版 第56号」をお読みになったご感想などをお寄せください。(各号ごとのアンケートとなります)



https://r.qrqrq.com/LA20RYp0

※個別の質問にお答えすることはできません。

パソコン スマホ でつくば市かわら版をいつでもどこでも!

市ホームページ マチイロ 市公式YouTube 声の広報 点字広報

もっと知りたい!

第56号



つくば市イメージキャラクター フクくん船長

つくば市 ばん かわら版



つくば市長 五十嵐立青

2026年4月1日

皆さんのギモンに市長が答えます

今回のテーマ 誰もが暮らしやすいまちづくり~合理的配慮の提供~

障害者地域支援室

ある日のつくば市役所

1 職員: ああ、お困りですね。何かお手伝いできることはありますか?

2 職員: はい、こちらが点字ブロックの案内図です。お読みいただけますか?

3 職員: はい、こちらが点字ブロックの案内図です。お読みいただけますか?

数日後...

4 職員: ああ、お困りですね。何かお手伝いできることはありますか?

5 職員: ああ、お困りですね。何かお手伝いできることはありますか?

合理的配慮

ギモン 01 合理的配慮の提供について教えて!

- 合理的配慮って何?**
合理的配慮とは、障害のある人もない人も、全ての人が平等に社会生活を送れるよう、日常生活にあるさまざまな社会的バリアを取り除くための工夫や対応のことなんだよ。
- 社会的バリアってどんなこと?**
社会生活を送る上でのルールや環境などによって、その人が持っている力を発揮できる機会が奪われてしまうバリア(障壁)のことだよ。社会生活で直面するバリアには大きく分けて4つあるんだ。

物理的なバリア 例: 移動面で困難をもたらす

制度的なバリア 例: 補助犬に対する理解が不十分

文化・情報面のバリア 例: 必要な情報が平等に得られない

意識上のバリア 例: 心ない言葉、偏見や差別、無関心など

生活の中にある4つのバリア

こうしたバリアがある中で、障害のある人から配慮や対応を求められた際に障害を理由に差別をしない社会にすることがとても大事だよ。そこで2013年6月に「障害者差別解消法」が制定されたんだよ。また、これまで合理的配慮の提供は国や自治体などの行政機関のみ義務付けられていたけれど、2024年4月1日からは「努力義務」だった民間事業者にも法的に義務化されたんだ。

次のページでは合理的配慮の提供について具体的な取り組みを紹介するね

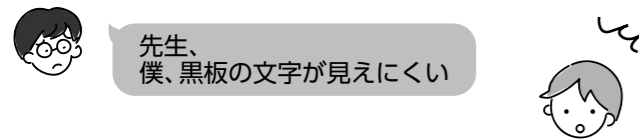
ギモン 02 合理的配慮の提供ってどんなことをするの？

身近な場面でどんな合理的配慮の提供があるの？

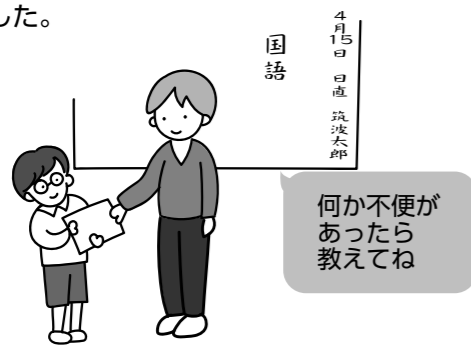
合理的配慮の具体的な提供事例を紹介するね。

学校編

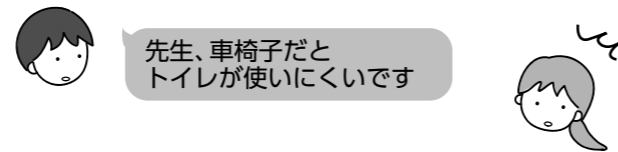
【事例1】児童から視覚障害(弱視)の申し出を受けた



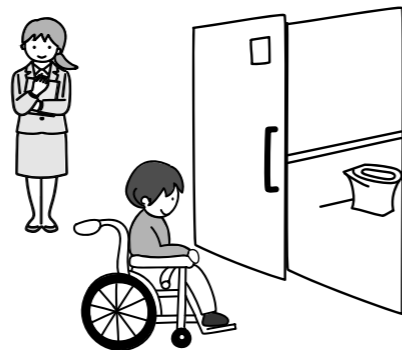
【対応】児童の席を一番前にして、黒板の文字を大きくしたり、プリントなどの文字の大きさや書体を工夫した。



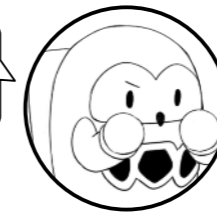
【事例2】使用する学校のトイレがバリアフリー対応でなかった。



【対応】車椅子で利用しやすいように段差をなくし、出入り口を広くするなどの改修を行った。



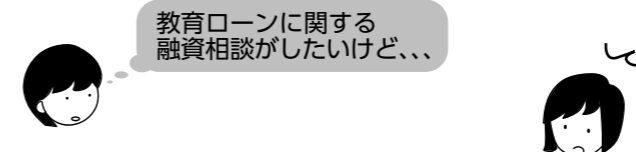
いろんな対応があるフクね。



合理的配慮は、障害があることを理由にした不当な差別を禁止するとともに、配慮が必要とされている方から何かお願いがあったときには、できる範囲で対話を通して双方に見合った配慮を提供するものとしているんだよ。

事業者編

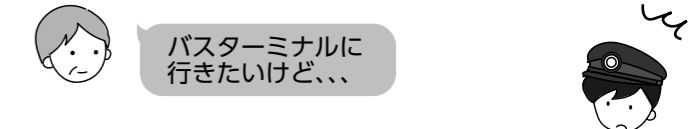
【事例1】銀行で聴覚障害の方が来店した



【対応】事前に筆談用ボードに確認したい事項を記載した。また、ゆっくりとした口調で口の動きが分かりやすいように説明した。



【事例2】人が集まる駅やその周辺に視覚障害の方が到着した



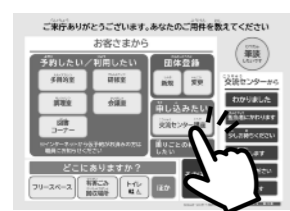
【対応】点字ブロック上に表示された二次元コードを、スマホの専用アプリ(iPhoneのみ)で読み込むと、目的地までの移動ルートを音声で誘導するシステム(ShikAI)を導入した。



市役所編

市役所や市の施設を訪れた方への多様なコミュニケーションツール

コミュニケーションボードの設置



▲市のコミュニケーションボード

さまざまな理由により会話することが困難な方が、指差して用件を伝えられます。

字幕表示システムの活用

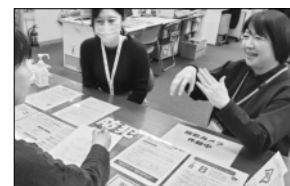
話した言葉を文字で表示するシステムを設置しています。会話の聞き取りづらさを解消し、より分かりやすいコミュニケーションが可能になっています。



さまざまな人が平等に正確に情報を伝えたり受け取ることができるフクね!



手話サービスの提供



常設で手話通訳者を配置しているほか、オンラインでの手話通訳サービスも行っています。

知りたいことが分かりやすく伝わる情報発信

広報紙から必要な情報を受け取る

音声版・点字版をウェブで公開。また、ユニバーサルデザイン^{*1}(UD)フォントの活用のほか、イベント情報における合理的配慮の提供有無の記載をしています。

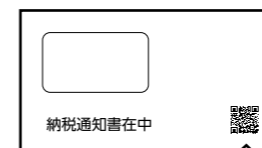


ホームページの機能を充実

視覚障害の方には画像に代替テキストを設定。聴覚障害の方には「手話通訳リンク^{*2}」サービスを提供をしています。

納税通知書などがUD封筒に

2026年度から、文字情報を音声で取得できる音声コード「ユニボイス」が、市税、国保、後期高齢、介護保険料などの封筒で導入されます。



◀UD封筒イメージ。二次元コードを読み込むと音声が出ます。

*1 ユニバーサルデザイン(UD)とは、年齢や障害の有無などにかかわらず、できるだけ多くの人が理解しやすく、利用しやすいよう最初から工夫されたデザインのことです。
*2 オペレーターが手話通訳をする電話リレーサービス

地域全体でバリアフリーに関する認識を共有するために「つくば市バリアフリーマスタープラン」を策定しています。学校や企業の教材に使える「わかりやすい版」も作成しましたのでご活用ください。



補助金のご案内

事業者や団体が障害のある方に必要な合理的配慮を提供するためにかかる費用に対し補助金を交付しています。事業者以外でも、自治会、市民団体でも補助金が受けられます。



対象区分	補助金上限	例
コミュニケーションツールの作成	10,000円	点字メニュー、音訳、コミュニケーションボードなど
物品の購入	50,000円	折りたたみスロープ、筆談ボードなど
工事の施工	100,000円	段差解消工事、手すり設置工事など